

二学期がはじまりました。子ども達は今、運動会の準備に忙しいです。お昼の放送で、6年生の各色の色長さんからの連絡があり、昼休みは色別の応援練習をしています。このお便りが手元にわたるころには、もう運動会は終わっているかもしれませんね。行事の多い二学期、ひとつ終わる毎に成長してほしいと願っています。二学期もどうぞよろしくお願いをいたします。

地域コーナー～お世話になっています

一学期から、こんなことをしたいなと思っていた考えを、二学期は実行に移したいと思います。

それは、**地域の方に日常的に学校にきていただきたい**という願いです。

今まで、地域の学習の講師として、たくさんの方にお世話になっています。それをちょっと広げて、もっといろいろ活動や授業にも参加していただきたいと考えました。ねらいは、

- (1) 子どもが様々な人と触れ合い、地域の人のふるさとへの願いや思いを知ったり、あこがれや尊敬の念をもったりする。
- (2) 子どもが地域の伝統や特色を知り、地域への愛着をもつ。
- (3) 子どもが地域の方に学習の支援をしていただき、感謝の気持ちをもつ。
- (4) 子どもが地域の方の多様な価値観に触れ、家族とは違う大人へのふるまい方を学ぶ。
- (5) 地域の方が子どもと直接触れ合い、その成長を喜ぶ気持ちを学校や保護者と共有する。
- (6) 地域の方が子どもの成長に関与することで、達成感や有用感をもってもらう。

ということです。子どもにとっても保護者にとっても学校にとっても地域にとっても、地域の方と子どもがもっともつとふれあうことは、意義のあることだと思います。

そばにいて言葉をかわしてもらっていいのです。子どもは、自分のことを知っていただく人が増えて安心したり、どんな関わり方をしたらいいか学んだりします。以前多根地区に「めだかの学校」があったと聞きました。それに少し似ているところもあります。学校で、子ども達にいろいろなことを教えてやってください。

今回の学校だよりで、いくつかの活動について、一緒にしていただける方を募集します。どうか、時間と活動のみで、参加できそうなことがありましたら、ぜひ、応募していただきたいと思います。

ただ、今までの地域講師と同様、報酬はありませんし、平日です。無理のないところで、気軽にお願いしたいです。まずは、募集内容をご覧ください。説明会に参加してください。そして、とりあえずやってみましょう。それから、子ども達の成長と一緒に喜びましょう。

「掛合太鼓」がんばりました！

伝統のある「掛合太鼓」をえびす祭りで5・6年生が発表しました。夏休みにも学校に来て練習していたのですが、なかなかうまくできず、本番はとても緊張していました。でも、一生懸命に演奏したので、たくさんの拍手をいただきました。

このような伝統を守る人として、子ども達には期待しています。それから、暑い中で指導してくださった方々への感謝の気持ちを忘れないで、それをはっきり表す人になってほしいということも終わってから伝えました。

始業式の校長の話

いよいよ2学期が始まります。(略)

さて、ここでクイズです。夏休みものんびりぼんやりしてはいられなかった人がいます。それは、誰でしょう？

答えは、5・6年生です。

夏休みの間に、5年生は大鼓の練習と勉強に6回も学校に来ました。6年生は大鼓とバスケットの練習と勉強と運動会の準備に7回来ました。そして、5・6年生はえびす祭りで太鼓の発表をしました。

太鼓の練習は、暑くて汗がたくさん流れませんでした。なかなかできなくて、何度も何度もやりました。でも、がんばってみんな練習したから、えびす祭りで発表することができました。音をはじめと終わりで全然違ってましたね。指導してくださった堀江さんも岡田さんも汗びっしょりでした。この掛合太鼓は、他の学校ではできないすばらしい経験です。

1・2・3・4年生の人も5年生になったらこの掛合の伝統を守って、しっかりと太鼓をたたいてほしいと思います。

それから、PTAの保護者さんと一緒に校舎の掃除をする日が1日ありました。5年生・6年生の人は校舎の掃除にも出て、窓ふきや床掃除など、2学期からみんなが気持ちよく勉強できるようにきれいにしてくれました。もちろん、みなさんのおうちの人もみなさんのために掃除をしてくださいました。ドッジの人はちようど全国大会に行く日だったので、できませんでしたが、なんとその前の違う日に草取りをしてくれました。1年生教室と2年生教室の外の草をとってきれいにしてくれました。

5・6年生の人は夏も学校のみんなのためにがんばってくれました。このことに感謝の気持ちを伝えましょう。5・6年生は立ちましよう。

みんなでありがとうと言って、拍手をしましょう。5・6年生の人は、「どういたしまして」と言います。(みんなで言う)

この「ありがとう」「どういたしまして」は、優しくて温かい言葉ですね。2学期は、「やさしいことば・あたたかいことば」を使おう。

これをがんばりましょう。言われてうれしい言葉は、やさしい言葉です。「おはよう」もそうです。私は、朝、みんなが「おはよう」と言ってくれると1日中幸せです。

では、2学期はみんながみんなを幸せにしましょう。

今回募集する学校支援ボランティアは、下に書いているものです。興味をもっていただける方は、学校にご連絡ください。(TEL62-9800) 詳しい内容や日にちなどについて、説明会のご案内をします。

1年	音楽	鍵盤ハーモニカを練習するときに聞いてもらう	6人くらい	11月上旬
2年	生活	町探検のときに児童を引率する手助けをしてもらう	3~4人	10月に1回
3年	総合的な学習の時間など	パソコンの操作の見守りをしてもらう	2人くらい	2学期後半~3学期

また、この後、別の募集をすることもありますので、よろしくお願います。

校舎の清掃、ありがとうございました

8月17日は、PTAの環境整備作業でした。雨天のため、校舎内の掃除になりました。いろいろな場所をきれいにさせていただきました。

おそらく今までしたことがなかったであろう天井付近の窓際なども脚立の上に乗って拭いていただいたり、窓枠やトイレなども一生懸命に掃除していただきました。

5・6年生も一緒に汗を流しました。自分たちの校舎を保護者の方に手伝っていただけてきれいにするのができたことに感謝の気持ちを持ってほしいと思います。

ありがとうございました。

☆9月の保健室来校数
9月18日までに何らかのけがや体の不調で保健室に来た人は、全校でのべ91人でした。

ランチルーム給食

2学期は、ランチルーム給食をしています。これは、学校の教職員による「元気いっぱいプロジェクト」チームが中心になって計画した活動です。ねらいは「いろいろな学年の人と給食を食べながら楽しく交流する」「上学年の児童がリーダーとなって行動し、みんなで協力して準備や片付けをする」ことです。

月・・・3・4年、火・・・2・5年、水・・・1・6年、木・・・1・2・3年、金・・・4・5・6年で食べます。席は、色ごとです。全教職員もそれぞれの色のテーブルで食べます。下学年が食べるのが遅くなると、上学年のお兄さんが牛乳瓶を洗ってあげたり、「好き嫌いはだめだよ。」と注意したり、いい関わりが見られます。このような活動を通して、温かい言葉・優しい言葉がたくさん聞えることを願っています。

また、ランチルームでの行動の流れや座席等のきまりをプロジェクトチームで細かく決めて、はじめに指導したので、子ども達は落ち着いて行動することができ、ほめられることも増えています。和気あいあいと食べている子ども達を見るのは、とても気持ちのいいものです。



飯石地区厚生保護女性会の皆様から「愛の図書券」をいただきました。児童の図書を買わせていただきます。ありがとうございました。

聞き方名人(上級)ができました！

- 聞き方名人(初級)**
- 1 いちど手をおく
 - 2 体をむける
 - 3 終わりまで聞く

- 聞き方名人(中級)**
- 1 いちど手をおき体をむける
 - 2 うなずきながら
 - 3 終わりまで聞く

- 聞き方名人(上級)**
- 1 いちど手をおき体をむける
 - 2 相手の考えを受け止めながら自分の考えを比べながら
 - 3 終わりまで聞く

5年半報だよ「we can」より わんぱく相撲に感動！！

5日(金)は、わんぱく相撲大会でした。子どもたちの気迫がぶつかり合う、とても素晴らしい大会となりました。様子を少しお知らせします。

朝の会で

朝、教室で誰かが言いました。

⑦「先生、なんでそんなに汗をかいてるんですか？」

⑧「よく、気がついてくれたね、ありがとう。先生たちは、今日は朝早くからみんなで集まって、相撲大会の準備をしとったんよ。実は、昨日の放課後もみんなが帰った後、先生たちみんなでテントを立てたり、荷物を運んだりして準備しとったんよ。」
子どもたちはみんな、だまって真剣に話を聞いてくれています。

⑨「先生たちはそれ(学校行事の準備)が仕事だから、当たり前のことをやっているだけだけど、みんなには、感謝の気持ちをもって今日の相撲大会に取り組んでほしいな。みんなのためにたくさんの人が動いてくれてるんだよ。どうやったら、みんなの感謝の気持ちが伝わるかな？」

⑦「一生懸命、相撲をとる！」

⑦「あいさつをきちんとする！」

子どもたちから、うれしい声が上がりました。

すもう大会始まる！

いよいよ相撲大会が始まりました。最初は女子の部です。少々あいさつの声の大きさが気になり、土俵の下から、

⑧「声が小さいよ！もっと声出して！」

と叫んでいましたが、内なる闘志はかなりのもの。土俵際の粘りがすごく、長期戦の試合が続きました。体をぶつけて遠慮なしに闘っている姿が、とても清々しかったです。試合を重ねるごとに、声も大きくなってきました。

男子の部になりました。割れんばかりの大きな声であいさつをし、闘志をむき出しにして構えています。勢いよく塩をまく人までいました。元気いっぱい姿です。

男女ともに勝負にこだわり、正々堂々と闘う姿が、本当に格好良かったです。勝った試合でのやりきった顔、負けたときの悔しそうにこらえる姿、全力で闘う姿に心を打たれました。

教室に帰ってから

この私の感動を子どもたちに伝えたいと思い、

⑧「今日は、いいものを見せてもらったわ〜。」

と言ったら、誰かが、

⑦「(ぼくたちの) ケツですか？」

と言い・・・(確かに全力でがんばっている子どもたちのおしりはとてもかわいかったです、

⑧「何言ってるの、みんなが全力でがんばっている姿だよ。みんなからの感謝の気持ちも伝わってきたよ。」

と伝えました。

終わりに

特に男子は、おしりを見せてまわしをまくので、はずかしかった子もいたと思います。ですが、そんな様子は感じられないほど、相撲に集中していました。相撲が、子どもたちを成長させてくれていると感じました。掛合の相撲の文化はとても素晴らしいですね。この掛合の伝統が、末永く続くことを願っています。



永井隆平和賞

学校をあげて、「永井隆平和賞」の作文に取り組みました。

その結果、4人の人が最終選考に残るというすばらしい結果でした。優秀賞をいただいた石飛花菜さんは、14日の平和賞式典で表彰していただきました。なお、この式典には、6年生が学校を代表して参加しています。

☆優秀賞 4年 石飛花菜 「ひいおばあちゃんをうけついで」

(最終選考に残った作品

2年 堀江奏汰 「ぼくとおじいちゃん」

5年 植田伊織 「永井博士のような勇敢な人になりたい」

5年 藤原隆星 「博士から学んだ『強い心』」

永井隆平和賞 優秀作品

ひいおばあちゃんをうけついで

四年 石飛花菜

私には、九十六才になるおばあちゃんがいます。松江の日赤の看護師で、

「若いころ、戦争に行つて、けがをした人を助けていたんだよ。」と、二年生のころ母から聞きました。そのときは、「へえ、そんなことをしていったんだ。」と思つたくらいでした。

四年生になった今、永井博士の本を読み、ひいおばあちゃんのことを思い出し、「戦争の時どんなことをしていたんだろう。」と、もっとくわしく知りたくなりました。今は、木次の病院に入院しているのだから、代わりにおじいちゃんに聞きました。その話はおどろくことばかりでした。

ひいおばあちゃんは、けがをした兵隊さんを助けるために、船で中国にわたつたそうです。日赤の看護師として、はずかしくないように、仕事をがんばっていたそうです。ひどいきずを負つてくる人や時には死にそうな人も運ばれてくる中、必死で手当てをしていたひいおばあちゃんを「すごいなあ、えらいなあ。」と思います。目の前で苦しむ兵隊さんを助けたい思いでいっぱいだったと思います。と同時に、心の底では「残こくな戦争は、いやだ。」と思つていたのではないかと思います。

私は、図書室で、「はだしのゲン」を見たり、原爆ドームのやけこげたかべを見たりしたとき、心がぞくぞくとしました。私は想像しただけでこわいのなのに、ひいおばあちゃんは、毎日のように残こくな姿を見て手当をしていたとは、本当におどろきました。

おどろいたのは、それだけではなく、病院長がねらわれたとき、手りゅう弾をもつていたこと。中国のほりよになつて、戦争が終わつても、しばらく日本に帰ることができなかったこと。その時、青さんカリと髪の毛の毛とつめをもつていたこと。「死を覚」して、毎日生きていたんだ。」と、おどろきました。

だからこそ、人一倍命の大切さを感じていたのだと思います。永井博士の学習をきっかけに、ひいおばあちゃんの話を通じてよかったです。また、人をつらくする戦争のおそろしさを今まで以上に感じました。

私は、今平和な暮らしをしています。でも、時々乱暴な言葉を耳にすることがあります。言われて悲しい言葉もあります。「あつちいけ」「死ぬね。」とか。びっくりします。生きてくても生きることができなかった皆さんの兵隊さんを見てきたひいおばあちゃんに聞いたら、どんなに悲しく思うでしょうか。

私は、ぜつたいに言わないし、言っている人がいたら、注意をします。私のひいおばあちゃんのやってきたことは、人を大切にすることです。それを受けついで、今の私にできることを行動します。永井博士と同じ気持ちを持っていたと思います。これまでその話をきかせてくれることはなかったけど、今度お見舞いに行ったら聞いてみようかなと思います。

ことばのひろば

「授業作りプロジェクト」チームは、言葉の力を高めようと、「ことばのひろば」を作りました。各学年の詩のコーナー、全校向けの言葉遊びコーナーなど、楽しく遊べる言葉のコーナーです。



メダカの話4

メダカの赤ちゃんが夏を越えてずいぶん成長しました。まだまだ小さいですが、元気よく泳いでいます。クロメダカとヒメダカが一緒にいるので、ひょっとしたら二つの種類の親からうまれたメダカもいるかもしれません。

先日、水そうの水替えをするために一時廊下のすいそうから赤ちゃんメダカをうつしたら、「メダカはどこに行ったの？」と聞きに来る低学年の子どもがたくさんいて、見てくれているんだなあうれしく思いました。

子ども達と一緒に、大きくなってほしいです。メダカは2年間くらいしか寿命はないそうですが・・・。

